

令和5年度シラバス (国語) 学番76 新潟県立糸魚川白嶺高等学校

教科(科目)	国語 (現代の国語)	単位数	2単位	年次(系列)	1年次
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準現代の国語』				
副教材等	第一学習社『標準現代の国語 学習課題集』, 第一学習社『カラー版新国語便覧』 尚文出版「常用漢字ダブルクリア 四訂版」				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進路希望が多岐にわたっていることから、

- (1) 基本的な言語事項の習得を重視し、特に漢字や語彙の確実な習得を目指します。
- (2) 文章を的確に理解した上で、自分の感じ方や考え方を確立させることを目指します。
- (3) さらにそれらを的確に表現し、他者と円滑にコミュニケーションを図る態度を目指します。

3 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 漢字テストの分析 ・ 提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 授業中の発言の観察 ・ 提出物などの内容の確認 ・ ワークシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言の観察 ・ 提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。		

5 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	世界を広げる	手塚治虫 「世界は謎に満ちている」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・好奇心の重要性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、自分の考えをまとめようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) a, b, c ワークシート (記述の分析) a, b
	世界を広げる	又吉直樹 「なぜ本を読むのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・読書の効用について、発表する。 	5	ワークシート (記述の点検) a, b, c ワークシート (記述の分析) a, b 発表の様子 (行動の観察) b, c
	定期考査			1	定期考査 (記述の確認) a, b
6	人間と文化	山崎正和 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 	5	ワークシート (記述の点検) a, b, c ワークシート (記述の分析) a, b,
	人間と文化	原沢伊都夫 「ステレオタイプの落とし穴」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ステレオタイプの作られ方や問題点について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、自分の考えをまとめようとしている。 	4	ワークシート (記述の点検) a, b, c ワークシート (記述の分析) a, b ワークシート (基礎知識の確認) a, c
7	定期考査			1	定期考査 (記述の確認) a, b
8	現代と社会	黒柳徹子 「黄色い花束」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 	7	ワークシート (記述の点検) a, b, c ワークシート (記述の分析) a, b ワークシート (作文の分析) a, b, c

9	言葉が開く世界	本田弘之 「言語としてのピクトグラム」	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えをまとめる。 ・積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめようとしている。 	7	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b
	10	定期考査		1	定期考査（記述の確認） a, b
11	社会と人間	岡田美智男 「弱いロボット」の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・ロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して発表しようとしている。 	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（作文の分析） a, b, c ワークシート（基礎知識の確認） a, c
	11	言葉が開く世界	中村桃子 「言葉遣いとアイデンティティ」	<ul style="list-style-type: none"> ・例示などの修辞を理解する。 ・言葉遣いの役割について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、自分の意見や考えをまとめようとしている。 	6
12	定期考査			1	定期考査（記述の確認） a, b
1	現代と社会	鷺谷いづみ 「イースター島になぜ森がないのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・持続可能性について、自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことを発表しようとしている。 	7	ワークシート（記述の点検） a, b, c 発表の様子（行動の観察） b, c ワークシート（基礎知識の確認） a, c
	2	社会と人間	内田樹 「人はなぜ仕事をするのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。 	8
	定期考査			1	定期考査（記述の確認） a, b

3	話して伝える	6 「A 話すこと・聞くこと」	「スピーチで自分を伝える」 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	5	ワークシート（記述の点検） a, b, c 発表の様子（行動の観察） b, c
---	--------	--------------------	---	---	--

計70時間（50分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 23時間	B「書くこと」 30時間	C「読むこと」 12時間
-----------------	----------------------	-----------------	-----------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

- ・各単元のはじめに語句調べの課題に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各単元が終了した際に、副教材「学習課題集」に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各定期テストの際に、ノートを提出し点検を受けます。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。
- ・漢字の小テストの際に、副教材「常用漢字ダブルクリア」を提出し点検を受けます。

7 担当者からの一言

「現代の国語」は「言語文化」とあわせて、すべての国語の教科の基礎となる科目です。漢字や語句を丁寧に習熟し、確かな基礎力を身に付けましょう。そのためには、教科書をしっかりと読む、授業をしっかりと聞く、ノートをしっかりと取ることが重要です。意欲を持って取り組んでください。

（担当：桐原・上野）